

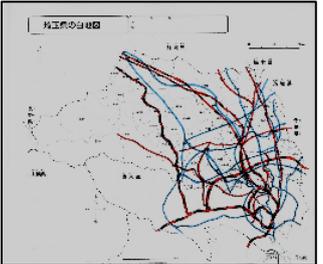
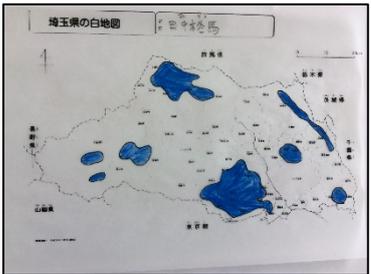
第4学年

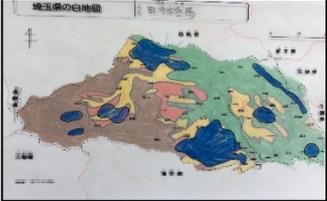
社会科

小単元名

埼玉県の様子

【学習計画】

つかむ	<p>① 埼玉県の様子について関心を高め、学習問題を考え、学習計画を立てる。</p> <p>学習問題</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 10px auto;">埼玉県はどのような県なのだろう。</div>
調べる	<p>② 「埼玉県内の人口の統計やグラフ」をもとに、県内の主な都市について調べ、トレーシングペーパー型白地図にまとめる中で、県の人口の広がり方について考える。</p> <ul style="list-style-type: none">・人口の多い都市があること・人口の少ない市町村があること 
	<p>③ 鉄道や道路の写真をもとに、県内の主な鉄道状況や道路状況について予想して調べ、トレーシングペーパー型白地図にまとめていく中で、県の交通の特色について考える。</p> <ul style="list-style-type: none">・地形の特色から考えられること・南北に交通が発達していること・鉄道や道路は県内や県外のまちとまちを結ぶ重要な役割があること 
	<p>④ 「人工衛星から見た埼玉県」の写真や「埼玉県の模型」をもとに調べ、トレーシングペーパー型白地図にまとめ、県の地形の特色について考える。</p> <ul style="list-style-type: none">・東西に長いこと・高地や低地があること・県全体の3分の1は山地であること・東の方は台地や低地であること 
	<p>⑤ 地図帳をもとに埼玉県の農産物について調べ、トレーシングペーパー型白地図にまとめていく中で、県の農業の特色について考える。</p> <ul style="list-style-type: none">・米、野菜、花などがつくられていること・各地に出荷されていること・台地や低地に農産物が多く、山地には農産物が少ないこと 

調べる	⑥ 地図帳をもとに埼玉県工業製品について調べ、トレーシングペーパー型白地図にまとめていく中で、県の工業の特色について考える。 <ul style="list-style-type: none"> ・工業団地がたくさんあること ・伝統的な工業製品があること ・人口の多いところや交通が発達しているところで県内の工業製品が多くつくられていること
まとめる	⑦ トレーシングペーパー型白地図 ⑧ をもとにして、埼玉県の地理的環境の特色を話し合い、学習問題のまとめをする。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>学習問題のまとめ</p> <p>埼玉県は、東西に長く西側に山地、東側に低地や台地が広がっている。県内では、たくさんの農産物や工業製品がつくられ、発達した交通網を生かして東京やその他の地域へと運ばれている。</p> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-top: 10px;">   </div>

【研究協議】

<資料を主とする教材開発について>

- ・トレーシングペーパー型の白地図を活用したことで、社会的事象の比較・関連付けを行いやすくなった。
- ・埼玉県の交通網を東京都とつなげて考えたことで、埼玉県の地理的環境（交通）を捉えさせることができた。
- ・鉄道や道路の数の大小に着目していたため、交通網の広がりへの理解が深まらなかった。
→そのため、「主な鉄道・道路」の「主な」の範囲を広く設定していく必要がある。

【指導講評】 指導課指導主事 岡田大助先生

- 地形条件・社会条件を踏まえたうえで関連付けがされていることが良かった。
- 前時までの資料を壁面に掲示していることで、学習したことを活かし関連付けやすい環境の整備がされていたことが良かった。
- 目に見える事実から目に見えない知識を獲得していくための思考力の習得。
→そのため、事実を調べる・事実から考えることの2つを区別していくことが必要。

成果

トレーシングペーパー型の白地図を活用することで、調べたことを関連付けることができた。
東京都とつなげて考えることで、埼玉県の交通網の様子をより深く理解することができた。

課題

資料から読み取ったことと、読み取ったことから考えたことを区別し、学習を進めていく。